

日野市観光協会だより

第35号 (令和2年11月発行)

特定非営利活動法人 日野市観光協会
<http://www.shinsenhino.com/>



高幡不動尊「菊まつり」 ～菊作りに寄せる想い～

日野市菊友会
会長 西野 正 人
(日野市観光協会 菊まつり部)

日本の秋を代表する花「菊」は、日野市の市の花になっています。日野に縁の深いカワラノギクの可憐さが人の心を惹きつけるなどの理由で選ばれたそうです。

毎年10月下旬から11月中旬まで高幡不動尊にて開催されています「菊まつり」は、日野市の大菊愛好家をはじめ、近隣の菊花会のご協力にて東京多摩菊花連盟の皆様が出品して運営されています。しかしながら、本年は新型コロナウイルス感染症の影響により50年続いた歴史の中で初めて開催を断念しました。特別競技花である「高幡の光明」を栽培し技術の向上と大会の盛り上がりを目指したのですが、第50回の記念大会は来年に持ち越しとなりました。

菊作りは天候などにより栽培が大きく左右され

審査基準の花の大きさ、色、艶が良くなったり悪くなったりします。近年、夏の猛暑により栽培は大変難しくなっています。しかし、菊愛好家は栽培において経験と研究により毎年立派な花を咲かせます。そのために栽培中は旅行もせず朝早くから手入れを行っています。その源となるのは『菊花展』です。多くの皆様に素晴らしい菊ですねと言われると大変うれしく苦勞が報われます。また、菊花展にて賞を頂くと充実感が得られ、一年間の苦勞が喜びになります。また、賞を逃した人は来年こそはと心に誓います。1年に1回しか大会はありません。高幡不動菊花展においては第1回目から参加しているのは、菊まつり部長の志村進一さんお一人です。人生でいったい何回出品できるのかと考えると1年1年無駄にできません。

さて、近年大菊栽培愛好家が少なくなっています。そして高齢化が進んでいます。菊作りは日本の文化とも言えますが、今後この伝統文化を守って行くのも菊花展に課せられた責務かもしれません。今後とも日野市観光協会・高幡不動尊のご協力、そして皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

自主
事業

会員研修会

令和元年度春の研修会 中止、秋の研修会 延期

日頃より研修会にご協力・ご支援を頂きありがとうございます。2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により市内外のイベント等が中止される中、研修部で熟慮した結果「春の研修会」の中止を決めました。

自粛期間中に改めて観光（日常生活圏を離れて行う学習や交流）と研修（仕事に必要な知識等の学習を目的に勉強会等に参加する事）を行う「研修会」のコロナ禍での在り方について考え、残念ながら「秋の研修会」開催も次年度に延期することになりました。

研修部では今後の活動をどのように行い、何が出来るのか…会員の皆様のご協力も得ながら、新しい生活様式に合わせて考えていきたいと思えます。
(研修部長 丸山祐幸)



「渋沢栄一記念館」見学 令和元年度会員研修旅行より

共催
事業

ひのよさこい祭

第19回 令和元年度 3月29日(日) 中止
第20回 令和2年度 延期 翌年度へ



第51回伸びゆく日野市写真コンクール
日野市商工会長賞 「ヤー」 伊藤正則さん

第19回から実行委員長を拝命致しました。観光協会の皆様始め、協賛団体、企業の皆様にはいつも多大なご支援、ご協力を頂いております。

実は第18回が台風により中止となり、今年3月の第19回も新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。そして今年度の第20回の開催も長引くコロナ禍を考慮して延期としました。現在は来年度の開催に向けて、変貌したイベント状況を考察しながら検討しております。第20回は皆様と共に新しい様式のよさこい祭を楽しみたいと思えます。今後とも「ひのよさこい祭」に応援を心よりお願い申し上げます。

(ひのよさこい祭実行委員長 梅田俊幸)

協力
事業

すえしげ 平山季重まつりの平山季重とは？

第15回 10月25日(日) 中止

平山地区の子供たちが参加する「平山季重まつり」は、この地に居した平山季重の武勇を後世に語り継ぐために毎年10月下旬に行われています。季重は平安末期から鎌倉期に活躍した武将で、源頼朝の父(義朝)の代から源氏に仕えました。弓の名手と謳われたその戦いぶりは『平家物語』『吾妻鏡』に描かれ、歌舞伎などでも取り上げられています。
(まつり推進部)

あじさいまつり、来年の開催を願い

6月1日(月)～30日(日) 中止



今年のあじさいまつりは新型コロナウイルス感染予防の為、30年以上の歴史の中で初めて中止となりました。毎年大勢の方があじさいを鑑賞しに来られますが、中止の影響で境内の賑わいも落ち着いていました。このような状況の中でも例年同様にあじさいは山全体を覆い、妍を競うあじさいの姿は参拝者の心を癒してくれました。コロナ禍がいつまで続くか分かりませんが、一日でも早く終息し、来年は通常開催して大勢の皆様のご来山をお待ちしております。
(高幡不動尊)

妍を競う：花が美しく咲き乱れている様子

協力
事業

日野市産業まつり

第54回 11月14日(土)、15日(日) 中止

日野市産業まつりは、日野市の農業、工業、商業の技術を皆様にご紹介いただく最大の行事です。観光協会は毎年ブースを設け、日野市と姉妹都市を締結している岩手県紫波町や、交流のある八丈町との地域交流を行っております。本年は新型コロナウイルス感染症の影響により、やむなく中止となりましたが、コロナ禍が一日も早く終息し、また皆様と交流できることを楽しみにしております。(事業部長 亀山孝一)



令和元年度 都市間交流ブース(紫波町、八丈町、観光協会)

曼珠沙華が百万本となる日まで



曼珠沙華の名前はインドの言葉、サンスクリット語(マンジューサケ)を漢字に音写したもので、昔からめでたい花として珍重されてきました。仏教とも関係の深い植物で、仏教を守護する諸天神がめでたい事の知らせとして、四華という美しい花の一つとして曼珠沙華を天から降らせ、それを見たものは悪業から離れる事が出来る言い伝えがあります。彼岸という言葉も仏教に関わりがありますが、めでたい御利益が山内八十八ヶ所の巡拝者に授かる事を願い、この花を曼珠沙華として植栽しております。

今年は『暑さ寒さも彼岸まで』の言葉のとおり、お彼岸に入って過ごしやすくなったこの時期に、境内の曼珠沙華は満開となりました。台風襲来の心配もありましたが、被害も無く、広場に赤いじゅうたんが敷かれたように曼珠沙華が咲き誇りました。参拝者はスマホ片手に好きなアングルで撮影を楽しんでいましたが、現在花の数が12万個以上ですので、その数が増えて、より一層花のじゅうたんが広がることを願っています。今後も益々のお力添えの程御願ひ申し上げます。(高幡不動尊)

共催
事業

たかはたもみじ灯路

第15回 11月22日(日)、23日(月) 翌年度へ延期

新型コロナウイルス感染症が世界で猛威を振るっており、日本においても同様に、いまだ終息の見通しも立っておりません。3月以降、日野市においても各イベントが中止・延期となり、「第15回たかはたもみじ灯路」も翌年度に延期とする決定に至りました。楽しみにして下さっている皆様もたくさんおられることと思いますが、何卒ご理解のほど、宜しくお願い致します。

(たかはたもみじ灯路実行委員長 小林昭治)



第51回伸びゆく日野市写真コンクール
佳作「流し灯路」池田清隆さん

共催
事業

ひの新選組まつり

第23回 5月9日(土)、10日(日) 中止

令和2年5月に予定されていた、ひの新選組まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりました。

同年2月後半以降、3月23日の実行委員会で中止が最終決定されるまで、日々変わる情勢に翻弄されながらも何度も打合せが行われ、規模を縮小した開催も検討されました。しかし、感染防止に加え、様々な立場のまつり関係者がそれぞれ本来の職務に注力して困難克服に努める時期であると判断し、全面中止となりました。

コロナ禍の出口は依然として不透明ですが、次回(令和3年)は、何らかの形でまつりを行い、その後の再興への礎とする予定です。(ひの新選組まつり実行委員長 山口徹雄)



第52回伸びゆく日野市写真コンクール
特選(日野市観光協会理事長賞)
「勝鬨を上げる」 中根英治さん



映画「燃えよ剣」未だ 公開日は未定

今般のコロナ問題によって、私たちの生活の根本的な価値観や行動様式を一変させられました。変動する不確実で複雑、曖昧な今のVUCA*時代は、幕末～明治にかけて、土方歳三が駆け抜けた混乱の予測不能な難しい時代の状況に重なります。これからの時代を私たちはどんな心構えで生きるべきなのか？人として大切にすべきものは何か？土方歳三の生き方がヒントになる？小説「燃えよ剣」を読み直しながら映画の公開を楽しみに待ちましょう。(株)ジェイコム東京 八王子・日野局 局長：海老澤孝一

©2020「燃えよ剣」製作委員会 配給：東宝 アスミック・エース

アスミック・エースは(株)ジェイコム東京のグループ会社です。

*VUCA(ブーカ)とは、変動性(Volatility)、不確実性(Uncertainty)、複雑性(Complexity) 曖昧性(Ambiguity)の予測が困難な4つの時代特性の頭文字をとった造語。

ガイド部活動再開

会員の皆様こんにちは！ 皆様に於かれましては終息しない新型コロナウイルス感染症の影響で気分の晴れない日々を送っておられる事と思います。「ガイド部」(日野新選組ガイドの会)も「緊急事態宣言」が発令された4月以降、活動は【開店休業】の状態になり、請け負っている新選組のふるさと歴史館、日野宿本陣での「展示説明業務」、新選組の史跡(御子孫の資料館・お墓等)を案内する「ツアーガイド」も中止し「巣ごもり」状況にありました。

ようやく11月1日(日)より活動を再開しましたので、皆様「新選組のふるさと歴史館」及び「日野宿本陣」に是非とも、おいで頂ければと思います。

(ガイド部長 芹川孝一)



日野新選組ガイドの会 発足10周年イベント
(2014年高幡不動尊にて)

令和2年度定期総会(委任状議決)を開催

6月3日(水)

観光協会では毎年、高幡不動尊信徒会館に於いて来賓の方々をお招きし、部会ごとに事業報告・決算報告並びに事業計画・予算計画を提案して総会を行ないます。しかし今年は新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じ、極力最小人数(委任状優先)で開催しました。総会に際し、事前に各部会から提案された内容を企画室で十分に協議し、一言一句精査した上で議案書を作成。それを正副理事長会、常任理事会、理事会、総会と順を追って審議して頂きました。その結果、無事に総会要件を満たして可決されました。

来年は会員の皆様と共に総会を開催したいと願っています。
(総務部長 滝瀬仁久)



多摩都市モノレール開通記念イベント タイムカプセル開示



120余名の作文を収めたタイムカプセル(直径約25cm、長さ約75cm)と作文原本

平成12年、多摩都市モノレール全線が開通した1月10日に観光協会は多摩動物公園駅前でイベントを行い、日野市内の小・中学生に「20年後のわたしへ」という題で作文を書いて頂き、タイムカプセルに納めました。

20年の時が経ち、令和2年1月10日に開示の期日を迎えました。3月には122名の方々に連絡を差し上げ、6月17日のお披露目会開催に向けて準備を進めておりました。しかし新型コロナウイルス感染症の影響で中止を余儀なくされ、連絡が取れた方には作文の原本を額縁に入れて返却させて頂きました。
(企画室長 滝瀬仁久)

自主
事業

第54回伸びゆく日野市写真コンクール作品募集

応募期間 12月8日(火)～1月22日(金)

新型コロナウイルス感染症の影響により、日野市内における多くの行事が延期・中止となりました。しかしこの状況だからこそ、日野市の風景、人、町並みなど普段は気づかない発見があると思います。日野市の歴史は歩みを止めていません。その歩みを、皆様の視点で写真にしてみませんか。今回の写真コンクールでは、皆様に身近な事業として親しんでいただくことを考え、例年とは異なりデータでの応募も受け付けることといたしました。詳細は応募要項をご覧ください。多くの皆様のご応募をお待ちしております。

<http://www.shinsenhino.com>

(事業部長 亀山孝一)



第53回伸びゆく日野市写真コンクール

特選(日野市議会議長賞)「田植体験」 野村明雄さん

これからの行事予定

12月8日(火)～1月22日(金)	第54回伸びゆく日野市写真コンクール作品募集受付
1月1日(祝)～7日(木)	日野七福神めぐり(市内7ヶ寺)
2月2日(火)	節分会(高幡不動尊)
2月上旬～3月中旬	京王百草園梅まつり
2月下旬又は3月上旬	会員研修会

就任あいさつ



事務局長 金子 龍一

今年4月1日より事務局長に就任いたしました。新型コロナウイルス感染拡大と時期が重なり、総会や各事業で会員の皆様に直接お会いする機会がありませんでした。日野の良さをもっともお伝えできればと思っております。よろしく申し上げます。



事務局次長 白井 和美

事務局次長に就任いたしました。微力ではございますが観光協会の発展に力を尽くして参りたいと念願しております。不慣れな部分もたくさんありますが今後とも会員の皆様のご指導ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

観光事業の功績に対し表彰



令和2年度日野市表彰に於いて、井村廣巳広報部長が長年の観光事業の功績に対し生活文化功労章を授与されました。お祝い申し上げます。

日野市観光協会の歩み 1958年(昭和33年)、日野町・七生村が合併し都立多摩動物公園が開園した年に日野観光協会として発足しました。1987年(昭和62年)日野観光協会から日野市観光協会へと名称を変更し、2006年(平成18年)3月28日に「特定非営利活動法人」の認可を受けました。その間、「菊まつり」「新選組まつり」をはじめ多くの事業を実施し2005年(平成17年)には事務局を「日野宿本陣」の敷地内に移転しました。

バナー広告主募集

現在、日野市観光協会ではバナー広告主を募集しております。ぜひご検討ください。

(サイド月額 会員2,500円 一般5,000円)今年度のみ半額

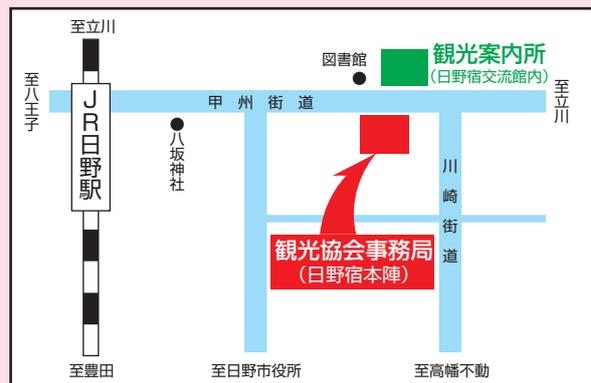
特定非営利活動法人 **日野市観光協会 事務局**

9:00AM～5:00PM 月曜休(祝日の場合は翌平日)

〒191-0011 東京都日野市日野本町 2-15-9

TEL(042)586-8808 FAX(042)586-8961

E-mail info@shinsenhino.com



会員募集

特定非営利活動法人日野市観光協会では会員を募集しています。日野市の観光や新選組、その他イベント等に興味のある方の入会をお待ちしています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集後記

本年は新型コロナウイルス感染症により、楽しみにしていたイベントやお祭り等の開催が中止となったほか、移動自粛により旅行に行けないなど我慢の年になりました。しかし、このような時でも花は季節に咲き、秋は紅葉が色鮮やかに楽しませてくれます。毎回魅力ある写真で盛り上がる「伸びゆく日野市写真コンクール」が例年通り開催されますので、この機会に地元を散策し市内の良いところを再発見してみるのもよいかもしれません。(Y)